

阿井地区校区別協議会だより

令和4年3月15日
第7号
阿井地区校区別協議会事務局

『町の再編方針に同意する』という結論に達す。

3月12日(土)、第8回校区別協議会が開催されました。今回は、まん延防止等重点措置が適用される中、初めてオンライン会議という形式での開催となりました。

当日は、これまでの協議経過の振り返りや、1月に実施した幼稚園・小学校保護者を対象としたアンケートの集計結果(裏面を参照)について確認を行った後、3月22日を回答期限とする町の提案内容についての採決を行いました。採決は、出席委員による投票形式(Web投票)により行い、その結果、阿井地区としては奥出雲町の示す再編方針(学級規模を20人程度に確保するための再編)に同意するという結論に達しました。



回答結果		
同意する	同意しない	棄権
19名	1名	3名

第8回校区別協議会 初の「オンライン会議」の様子

今後も阿井の子どもたちの為に活動を継続していきます。

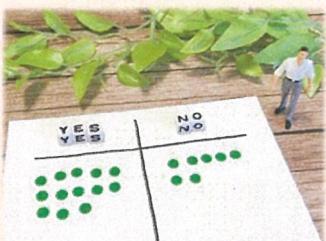
今回、小学校再編方針に同意するという結論に至ったものの、これはあくまでも通過点に過ぎません。統合小学校の建設予定地や統合時期については未定のままであり、また、通学方法についての課題や、現小学校施設の跡地の利活用問題など、統合に向けての課題は山積みの状態です。小学校建設予定地以外のこれら課題については、今後立ち上げが予定されている統合小学校設立にかかる各種検討部会等で協議が継続されることとなります。今後も阿井地区の意見が十分反映されたよりよい統合小学校となるよう、引き続き阿井地区校区別協議会としての活動を継続していきたいと考えています。

小学校再編に関する保護者アンケート集計結果

阿井小学校・阿井幼稚園の保護者を対象に『小学校再編に関する保護者アンケート』を実施しました。結果は以下の通りです。

1. アンケート回答の状況

配布部数	回収数	回収率
59	48	81.4%



2. お子様の教育環境を考える際に、どのようなことを重視されますか。 (最も重要と考えることを1つ選択)

回答項目	件数
A 同級生の人数（同性のバランス）	19件
B 体育館やプールなど教育施設・設備の充実度	3件
C 学校の教育方針、教育ビジョン	12件
D ふるさと教育や地域行事などにより地域との連携	3件
E 通学方法や通学距離	6件
F 複数回答	4件
G その他	1件
H 未提出	11件

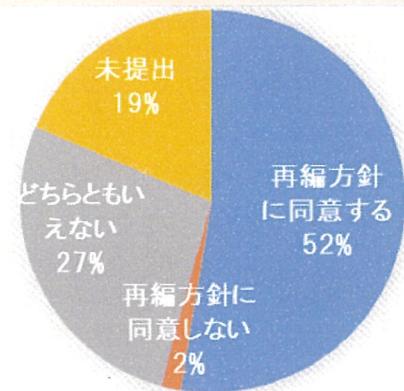
Q. 奥出雲町が進める学校再編方針についてどのように判断されますか？

「再編方針に同意する」理由

- 少人数よりある程度の人数である方がやる気などにつながり、競争心が増して良いと思う。
- 小学校の場所についてはやむを得ない。学級規模の考えについては賛成なので、統合に向けてしっかりと計画を立てて実行してほしい
- 将来社会に出て役立つコミュニケーション能力を育てるため。
- 少ない人数にメリットを感じない。今は教員をムダに多く配置している。統合すれば支援学級等へ配置できる
- 複式学級は避けたいので。

「再編方針に同意しない」理由

- 町の考え方方が不明確な為。



Q. 自由記載（一部抜粋）

我が子のいるクラスは男女比率の悪い学年です。できれば、男女それぞれ充実した人数で子供達には生活してほしいと思います。女子が1名なので何らかの形で良い方法はないものかと考えてしまいます。再編が長引いているので、先は見通せませんが、他の小学校との交流授業等を増やし、人数の多い中で育つメリットも子どもたちに味わえるようにさせてあげたいと願います。

私自身が幼小の頃の経験や体験で、今でも自分の中に残り、人格形成や人間関係の構築に大きく影響していると考えるのは「協争（競争）」と「協力」であり、これはクラスの授業の中での発言や発表の機会、クラブ活動からの経験でした。授業や教育（勉強）は、日本国内であれば等しく受けられるが、友人や先輩後輩のいる環境はそれよりも大切と考えます。通学は都会でも何十分もかけて通う子もいる。田舎で人間関係が希薄なことこそかわいそうなことと思う。



町の小学校統合に対する姿勢に不安を感じる。もっと強い意志で進めて頂かないとまとまりそうにないと思います。すべての意見を聞くのも大事ですが、方向性を決めて推し進めることも必要だと思います。ただ、カルチャープラザに仮設校舎を建てると言った時はさすがに反対意見でしたが。子供たちのことを思いやった計画をお願いします。

統合や子が減ることで、地域が寂しくなることが心配される。週末や放課後の居場所として、地域に出来る事は沢山あると思う。大切なのは誰が中心となってやるか。その拠点が今までなら学校だった。それに代わる仕組み（公民館も活かしながら）が必要となりそうだ。町全体で統合を受けてどう動くのかという次の一步も考えていきたい。